

II-5. 大阪大学OUマスタープラン2027に特に貢献した教育研究活動に関する報告

大阪大学は、第4期中期目標期間に加え、さらにその先も見据えた中長期的な経営ビジョンであるOUマスタープラン2027を掲げており、この中で「教育基盤：知性あふれる人材を持続的に育成する教育環境の整備」、「研究基盤：自由な発想が芽吹く研究環境の構築」、「コロナ新時代に対応する情報基盤整備」、さらには「グローバル戦略：世界規模の課題に立ち向かうグローバル人材の育成と学術研究の推進」を進めている。本事業は、こういった目標への到達に向けた教育研究における取組を具現化するものであり、国公立大学が担うべき薬学領域、医療における社会的な責任を自覚し、社会とともに歩み、活力ある社会を創出するための人材の育成を通してOUマスタープラン2027に貢献するものである。

II-2から4で報告した2023年度本事業の成果のうち、特にOUマスタープラン2027の実現に貢献したと考えられるプログラムを以下に取り上げる。括弧内に、特に該当するOUマスタープランの戦略ならびに取組を記載した。なお、本項では、タイトルあるいは概要のみの掲載とした。詳細は実施大学のホームページを参照いただきたい。

<北海道大学>

学部共通教育体制と国際性涵養教育体制の強化 に関連して

●新渡戸カレッジ

自主性、指導性、協調性などを培うための課外活動・キャリア支援・修学支援体制の強化に関連して

●博士課程学生向けのフェローシップ

数理・データ情報科学教育の強化と全学体制の構築 に関連して

●数理・データサイエンスセンター主催学生向けプログラム

<千葉大学>

教育研究活動を支える財源の確保

事務職員の戦略的な採用・育成・配置

本取り組みによる予算により、実務実習やその他の教育・研究に必要な人員、備品を購入し、先導的薬剤師養成のための教育・研究が実施できた。

<富山大学>

[学生の国際性を涵養する短期海外派遣体制の整備充実]

国際交流事業で南カルフォルニア研修を実施した。

[地域・社会・市民との共創を通じたブランドの醸成]

総合選抜型入試による地域枠、博士課程進学研究者養成枠の設置

(前者は令和6年度入学者から、後者は令和4年度入学者から)

県内高校へ薬学部についての説明を行い、それらの声をもとに国立大学薬学部6年制として、地域枠の設置を行った。これらは、博士課程進学者のための総合型選抜を行うことも地域の病院・企業、さらには、行政からの要請によるものである。

<金沢大学>

[社会との共創を醸成し、活性化させるブランディングの展開]

地方行政と連携し、地域住民の健康増進活動および国保データベースを基盤とした医療ニーズの探索に取り組んだ。

<京都大学>

[薬学研究科DEI推進委員会の主導による、女性専用多目的室設置等の環境整備。]

[大学院生への経済支援・奨学金制度（藤多仁生奨学金・薬学研究科ティーチングアシスタント制度等）の充実]

<広島大学>

[社会との共創を醸成し、活性化させるブランディングの展開]

広島大学薬学部は、社会連携活動の一つとして、広島県薬務課、広島県病院薬剤師会、広島県薬剤師会と協働し、広島県内の中山間地域及び島嶼部での薬剤師安定配置システムの構築に着手している。このシステムは全国への展開を目指したものであり、「ステークホルダーとの信頼関係を醸成し、活性化させるブランディングの展開」に資するものであると考えられる。

<徳島大学>

[国際連携を軸にした国際交流教育プログラムの「2023年度 徳島大学薬学部—米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部症例検討ビデオカンファレンスが、「OUマスタープラン【主要取組】」]

「国際連携を軸にした国際交流教育プログラムの拡充」に一部該当するかと思われます。ご確認ください。

<九州大学>

[DXを活用した教育プログラムの実施]

電子処方箋、オンライン服薬指導など昨今の世の中の急速な変化に対応するため、関連する知識に関する講義とオンライン服薬指導システム（ハートライン）を用いた演習を実施した。

<長崎大学>

[多様な人材が輝くグローバル戦略と Diversity & Inclusion の深化へ貢献]

本学薬学部は、2024年3月、大学間学術交流協定を締結している米国ニューメキシコ大学薬学部の正規授業である国際地域医療実習（実習生2名と引率教員2名）を長崎にて初めて行った。長崎大学病院、市内薬局、上五島地区の離島実習施設にて2週間の実習を行い、その間本学薬学部教員10名並びに地域薬剤師数名が留学生の指導にあたった。さらに、本学薬学部学生が参加できる多数のイベント（本学薬学部茶道による歓迎会、留学生による米国の臨床教育と医療用大麻についての発表、本学学生による市内観光案

内、留学生による長崎での学びに関する報告交流会、本学生による漢方薬に関する発表)を実施し、双方の教員並びに学生の交流を促した。結果的に30名以上の学生が参加した。このように異なる国や地域の薬学部が協力し国際的な教育ネットワークを構築することによって、留学生はもちろんのこと、異文化や異なる言語に触れたい本学学生や国際的な薬学教育経験を積みたいという本学学生に、より豊富な教育環境を提供した。このようにして、本学は、多様な人材が輝くグローバル戦略と Diversity & Inclusion の深化へ貢献している。

<熊本大学>

「メディポリス国際陽子線治療センター研修」

【重点戦略】学外のようなステークホルダーとの連携を活用した人材育成

[主要取り組み] インターンシップ・オン・キャンパスプログラムの全学的展開ならびに企業・大学相互メリット型リカレント教育体制の構築

「International Teaching Certificate Programの受講に基づくカリキュラムプランニングワークショップ」

【重点戦略】学外のようなステークホルダーとの連携を活用した人材育成

[主要取り組み] 国際連携を軸にした国際交流教育プログラムの拡充

「薬学教育および薬剤師職能の動向に関する国際シンポジウム」

【重点戦略】学外のようなステークホルダーとの連携を活用した人材育成

[主要取り組み] 国際連携を軸にした国際交流教育プログラムの拡充

「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」

【重点戦略】 ブレンデッド教育を支える学修環境の高度化（主として教育基盤に関連）

[主要取り組み] ブレンデッド教育、オンライン・エンrollmentを支える安心・快適な情報インフラの整備

「薬剤師職能振興研究助成にかかる事業」

【重点戦略】学部・大学院教育内容のさらなる充実化

[主要取り組み] 健康・スポーツ科学教育研究連携体制の構築及び、

【重点戦略】 ブレンデッド教育を支える学修環境の高度化（主として教育基盤に関連）

[主要取り組み] ブレンデッド教育、オンライン・エンrollmentを支える安心・快適な情報インフラの整備

<静岡県立大学>

[グローバル人材の育成を目的とした国際交流]

本事業をもとに米国への学生派遣を行っている。2023年度からは国際交流校であるアリゾナ大学に加えてワシントン大学附属病院も訪問先に加えた。また交流実績の蓄積により、教員の交流を促進し、2024年度にはアリゾナ大学薬学部学生の国際実習の受け入れも開始する。今後、米国以外の薬学部とも教員・学生の研究および教育交流を実施するよう準備を進める予定である。

[地域活性化と薬剤師偏在を解消するための地域医療アドバンスト実習]

薬学部 5-6 年生のアドバンスト実習として、地域を訪問しその医療現場においてアドバンスト実習を行い、その成果を下級生に伝えることにより全学生が地域医療に関心を持つような事業を行っている。

[デジタル技術を用いた新たな教材と教育法の開発]

令和3年度の文部科学省事業「ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」で本学が作成したVR映像コンテンツを用いた、臨場感ある実習を行うために新たな教育法を検討・開発している。